



2015 -2016 年度

国際ロータリー会長：K. R. ラビンドラン「世界へのプレゼントになろう」

第2560地区ガバナー：山本 和則「夢 (gift) を明日へ繋げよう」

三条北ロータリークラブテーマ「ロータリーの輪を広げよう」

会長：外山 晴一
幹事：渋谷 義徳
SAA：石川 一昭

例会日：火曜日12:30～13:30
例会場：三条ロイヤルホテル TEL.34-8111
事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内
TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP：<http://www.sajo-nrc.org>

AD：north@sanjo-nrc.org

本日の行事：新会員卓話

- ◆本日の出席：65名中34名
- ◆先々週の出席率：66名中53名 80.30%
(前年同期 75.76%)

*例会に先立ち、12月7日に急逝された
西山 斉会員のご冥福を祈り黙祷を捧げ
ました。

会長挨拶：外山 晴一会長



(日本とフリーメーソン)

明治5年に新橋・横浜間に鉄
道が開通した。明治5年に鉄
道を開通させるにはいつか
ら計画し、準備していたのだ
ろうか？明治政府は薩摩や
長州の田舎侍が天下を取っ

て作ったものだ。明治5年になってやっと鉄道
を作ろうと決めても早いからだ。誰かが早く
から鉄道計画を作っていたと考えるべきだ。
明治維新は鉄道に限らず、郵便、電信、教育、
医療はじめ、ありとあらゆる近代的な仕組みを
一斉に作った。

そのため「お雇い外国人」を欧米から短期間に
何千人も呼んできた。当時それぞれの分野にお
いて一流の人が多い。

強力な組織がバックにないと不可能だ。薩長の田舎侍には欧米のどこに優秀な人が要るのかさえ分
からない。ましてや大量の優秀な人材を一斉に日本に連れてくることなど出来ない。

フリーメーソンが明治維新を計画し実行したと考えると理解できる。まず、フリーメーソン国家ア
メリカがペリーを送って日本を植民地にしようとして来た。日本を開国まで持っていったが、自国
で南北戦争が起こったため、日本にかかわっておれなくなった。その間隙をぬって日本に来たのが
イギリスフリーメーソンで、その代表人物がトーマス・グラバーである。長崎のグラバー邸にはコン
パスと定規のフリーメーソンのマークがあり、グラバーがフリーメーソンのメンバーだったこと
を証明している。坂本龍馬はグラバーの手先としてイギリスをバックに活躍した。

グラバーは近代フリーメーソンの発祥の地である英国スコットランドの生まれで、21歳の時アヘン
商人で有名なジャーディンマゼソン商会の上海支店の長崎出張所長として日本に来た。中国にはア
ヘンを売ったジャーディンマゼソン商会は日本にはアヘンを売らないで武器を売った。武器の方が
アヘンより儲かった。南北戦争が終わったアメリカには大量の武器が余っていた。ジャーディンマ
ゼソン商会はそれをタダ同然に買ったとき、日本に売った。そのためには戦争が必要だった。徳川
慶喜が白旗を掲げて恭順の意を示しても、それを許さずに戦争した。難癖付けて会津に戦争をし
かけた。長岡の河合継之助などはこの薩長の挑発に載せられた。結果、戊辰の戦争が起き、明治維新
を経て軍国日本を作ることに成功した。その後、日本は日清日露戦争へと軍国主義の道をまい進す
る。この間イギリスは鉄砲や大砲はもとより、軍艦や鉄道まで何でも日本に売り荒稼ぎをした。

自分がペリーを送って日本を開国したのにイギリスに日本を取られ、利益を持って行かれたアメリ
カは第2次世界大戦で日本に勝つことにより、日本を取り返した。戦後、日本に来たアメリカの進
駐軍はマッカーサーはじめフリーメーソンのメンバーが多かった。

幹事報告：渋谷義徳幹事

- ・第2560地区職業奉仕委員長より 職業奉仕セミナー開催のご案内
日時 2016年1月30日(土)12:00～
会場 ホテルオークラ新潟 3階 クラウン
- ・三条中央ライオンズクラブより 結成50周年記念式典のご案内
日時 2016年5月22日(土)14:00～
会場 ジオ・ワールド ビップ
- ・山本ガバナー事務所より 年末年始休業のお知らせ
12月28日(月)～1月4日(月)
緊急連絡は角南地区幹事まで
- ・新潟いのちの電話より クリスマス年末ご寄付のお願い
講演会のご案内
日時 2016年1月16日(土)13:30～
講師 雨宮処凛(あまみやかりん)氏「生きづらさを生きる・支え合う」
日時 2016年2月19日(金)18:30～
講師 姜 尚中(かんさんじゅん)氏「生命は何によって輝くか」
会場 いずれもメディアシップ2F日報ホール入場無料です。
お気軽にお出で下さい。



委員会報告

30周年実行委員会

CD作成の件で石黒副実行委員長から先週お願いしましたが、お渡ししたデモCDは20枚程ですのでダビング出来る方はして頂き、事務局へ返して下さい。レコーディングまでに順次皆さんから聞いて頂き、2曲ありますが、どちらかに参加して頂きますので宜しくお願い致します。



親睦活動委員会

次週22日はクリスマスパーティー 燕三条ワシントンホテル 18:00 開場 18:30～です。今のところ、例年より参加者数が若干少ないようです。ご都合が付き方は是非ご出席宜しくお願い致します。



*****ロータリー財団ボックス15日現在累計242,000円*****

- 羽賀 一真君 エルニーニョ現象で暖冬ですね。このまま雪も降らずに春になる、なんてことはないのでしょうか。
- 星野 義男君 西山 斉さんのご冥福をお祈りします。
- 落合 益夫君 ロータリー財団のテーブルになったので協力。
- 岡田 大介君 BOXに協力
- 本間建雄美君 いつも財団BOXに協力いただきましてありがとうございます。今後とも宜しくお願いします。
- 石川 友意君 BOXに協力!!



*****米山奨学ボックス15日現在累計343,000*****

- 中條 耕二君 花井知之さんの卓話に感謝して。今年最後の米山です。
- 佐藤 弘志君 花井さんの卓話楽しみにしておりましたが、用があり聞けません。卓話頑張って下さい。
- 丸山 勝君 米山に協力します。新潟にしては良い天気が続きますね。気分は爽快、久しぶりの例会出席です。宜しくお願いします。
- 瀧岡 茂君 同じテーブルです。協力します。
- 岡田 健君 米山のテーブルに座りました。花井さんの卓話楽しみにしております。

*****ニコニコボックス15日現在累計427,000円*****

- 花井 知之君 私のつまらない卓話にお付き合いして頂く事に感謝の意味を込めまして。
星野 義男君 花井知之さんの卓話に感謝して!!
渡辺 徹君 花井さんの卓話楽しみにしています。
田中耕太郎君 ”
石川 一昭君 花井さん卓話楽しみです。プレッシャーをかけます!!
本間建雄美君 先日の忘年会、大変お世話になりました。途中で退席し失礼しました。
(佐藤義英ボックス委員に対してのお詫びの言葉です)
今井 克義君 花井会員の「新会員の卓話」ありがとうございます。楽しみにしています。
坂内 康男君 本日最高の天気です。花井知之さん卓話ご苦労さんです。楽しみです。聞かせて下さい。
早川 瀧雄君 春が来たような気候です。コートなしでルンルン気分です。ダンディな花井会員の卓話楽しみです。
米山 忠俊君 本日は花井会員の卓話ご苦労様です。何はともあれ今年も無事に過ごされそうです感謝です。
石川 友意君 昨日、3番目の孫が1,900gの小さい子でしたが無事生まれホッとしております。花井さんの卓話に感謝して!!
外山 裕一君 BOXに協力
佐藤 義英君 花井さん卓話、ご苦労様です!!



本日の行事：新会員卓話 花井知之会員



宜しくお願い致します。極度の緊張から風邪を引いてしまいお聞き苦しいと思いますが、お許し下さい。何をお話していいやらわからず、先輩達の卓話をHPで拝見させて頂きましたが、私にはたいした趣味も無ければ自慢できる話

もありません。みなさんが経験した事のないような事はいっぱいありますが、この場でお話出来る様な事ではないです。又こういう場はなれておりませんので失言や不適切な表現がありましたらお許し下さい。つまらないお話ですがお付き合い下さい。

名前は花井知之（はないちゆき）53歳です。出身は今新潟市ですが、西蒲原郡中之口村生まれの田舎者です。会社はKハートデザインといい、店舗デザイン施工、住宅の新築リフォーム等を行なっている小さな会社です。スタッフ7名で須頃の8号線沿いで7年半前から細々と営業しています。

ロータリーへ入会のきっかけは前々会長の丸山勝さんの住宅の全面リフォームをさせて頂き、当社としては最高の看板になりえる素晴らしいお仕事をさせて頂きました。その頃、某銀行の新年会で丸山さんとご一緒させて頂きまして、同じテーブルに佐藤弘志さん、佐藤義英さ

ん渋谷幹事ほか数名の方がいらっしゃったと思いますが、“ロータリーとは”から始まり二次会でも“ロータリーとは”としつこく（いえいえ一生懸命）説明して頂き、最後は丸山さんの一言「入れ」で締めくくって頂きました。

大変お世話になった丸山さんに言われれば「お任せします」と答えるしか無かったというか……。そのお陰で名誉ある北ロータリークラブに入れて頂いた事は、今となれば感謝して居ります。

私の様な者のスポンサーになって頂きありがとうございました。

田舎の中学校から三流普通高校を経て、東京に行きたい一心から試験のない専門学校に行かせて貰いましたが学校にも行かずにバイトに明け暮れ、水商売の世界を経験しました。

俗に言うディスコ、新宿のコマ劇前の飲んで踊れる店。ちょうど映画「サタディナイトフィーバー」がはやり、流行の最先端だったと思います。華やかな世界だと思っていましたが、中身は全然違って、グラスは投げつけられる、休んだらいじめられる、週末の忙しい時は水を飲んだだけでどなられる、というような世界でした。理不尽の連続でした。その中で誰と仲良くなればいいのか、誰に可愛がられればいいのか、空気を読む力を身につけた様に思います。

今の営業という仕事に大きく結びついていると思います。

学生の2年の10月に東京のキャノンの事務機事業部の営業に無事就職が決まり、お祝いに1月にグアムへの招待旅行という豪華さで、青田刈りの全盛期でした。

4月の入社式を迎えたのですが、実は私は2月に学校に呼ばれ「卒業させない」と言われました。出席日数が足りないのは補習でなんとかなるが、代返の日数が異常に多く、悪質だからとキッパリ言われました。私は誰にも代返を頼んだ事もないのですが・・・。友達に恵まれたのだと思いますが、いつもみんなが交代で代返してくれていたという事でした。“ありがとう”という気持ちと“ふざけるな”という気持ちで学校を辞めることにしました。

さて問題は就職するキャノンに対してです。どうしようと思いつながら入社式になってしまいました。

たまたま一番前の席だったんですが、社長が挨拶の中で突然、冗談のつもりだったと思いますが「この中に卒業できなかった人はいませんよね」と壇上から、それも私の真ん前で言われ、とっさに手を挙げてしまいました。自分ではなんて正直者で真面目な性格なんだろうとほめてやりたいと思いましたが、それからが大変でした。同期からは失笑の笑い声がおこり、会社役員上層部はあたふた、社長は睨んでいるし、最後に社長から「あとでこい」と言われ入社式は終わりました。

恐る恐る役員室に行ったら、何人もの役員さん達の前に座らされて「どうする気だ」と言われました。開き直って「このまま入社させて下さい」と言ったら、社長が笑い始め「特例として入社を認める」という、ありがたいお言葉を頂き嘘をつかずに無事、入社させて頂きました。その恩に報いるために一生懸命に仕事をして新人賞総なめの快挙をなしとげました。

ただ私の悪い癖がまた出ました。とにかく飽き性なんです。仕事は完全飛び込み営業で、売って設置が終わると先輩に引き継ぎ、又飛び込みです。それがいやでルート営業がいいと思い会社に辞表を出し、言い訳として親が死にそうなので田舎に帰ると言って退社。次はサッシメーカーのルート営業として富山、長岡と勤務しました。ちなみに今日まで親はとっても元気です。しかし、ルート営業の難しさを実感させられました。新人ですから担当が代わるとすべて前の担当と比べられ、前はもっと安くしてくれた、もっと融通が利いた、お客様の言いたい放題で、とても自分にはむかないと思い1年足らずで退社しました。

その後、三条の店舗デザイン会社に入社しまし

た。デザインは昔から興味もあり、やりたかった仕事でしたので楽しかったです。営業面でも飛び込み半分、ルート半分で自分にとっては理想的な形でした。何よりも夜のお店の仕事が半分、昼間の店が半分くらいでしたので時間は大変でしたが本当に自分には合っているように思いました。ましてや夜の営業は飲み食いしながら女の子と話して、店を出させるのが仕事というような。仕事と遊びが半々みたいでしたから考えられないくらい楽しかった。

危ない思いもしましたが、割愛させて頂きます。30歳の時に死に直面しました。風邪かなと思いき、個人医院に行き1週間経っても治らず、再度行きましたら、先生は顔を見た瞬間、「風邪ではない、目に黄疸が出ている」と言われ直ぐに済生会を紹介され、即入院と同時に面会謝絶、意味が分かりませんでした。急性肝炎でした。入院2日目ベッドから起き上がれません。その3日後、突然、夕方 親、家族が大勢で現われ、何かと思えば病院から「直ぐ来て欲しい」と連絡があったとの事。担当医の説明で数値が最悪で「今夜が山です」・・・「どうなりますか？」「意識がなくなり朝目が覚めない」と言われ、そんな事を言われれば当然眠れる訳もなく、ベッドの上でいろんな事を考えました。

まさしく走馬燈のようというフレーズがピッタリです。その時、涙が一雫落ちたのを今でも覚えています。死にたくないとは本気で思いました。気がついたら寝てしまった様です。目を開けると医師や看護師たちが「もう大丈夫です」という声が夢の中で聞いたような気がします。3ヶ月の入院後、無事退院できました。生かされた事に感謝し、人の為、自分の為に一生懸命生きようと今日まで努力してきたつもりです。

46歳の時にいろんな条件が重なって会社から独立させて頂きました。23年間お世話になり、いろいろ勉強させて頂きました。

私にはコンプレックスがあります。他人に言うとかくだらないとよく言われますが・・・本人にとってはすごい悩みです。

実は名前です。トモユキでいいと思いますが、親が付けたふりがなはチユキです。

子供の頃から読めない、変わっている、変とかさんざん言われ、中学生の頃、父親に「何で」と聞くと、怒鳴られ「いやなら変えろ」と言われ、それから一度も親には言えませんでした。

18歳頃からは苗字で呼ばれるようになり、会社に入っては「花井」「花井君」になり名前を呼ばれることが少なくなりました。ですから私の廻りは、トモユキと思っている人の方が多い

位で、過去に付き合った女の子でもそう思っている子もいる位です。公式的なことでなければ、トモユキで通す事も多い位です。ちなみに私には2歳下の妹が居ます。知美と書いて“トモミ”です。親は私に付けた名前が親戚などに言われたのか、妹が生まれるまでの2年の間に後悔したとしか思えません。

名前にコンプレックスを持っている中でロータリークラブの世界はフルネームで呼ばれること

が多く、その事が子供の頃の事が蘇り、それだけが今でも憂鬱になります。少しずつ慣れていければと思っています。

まだまだ何も解りませんが、皆様から可愛がって頂ける様に一生懸命勉強し、努力して行きますのでこれからもよろしくお願い致します。今日は私のくだらない話を長々と聞いて頂きやっとなん卓話の禊ぎが終わった事に感謝します。本当にありがとうございました。



ハイライトよねやま 189

2015年12月14日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 今年もあと半月、ご寄付はお早目に —

11月までの寄付金は前年同期と比べて0.5%増（普通寄付金0.8%増、特別寄付金0.3%増）、約330万円の増加となりました。7月から累計した寄付額が11月末の時点で7億円の大台に乗るのは、昨年につづき2年連続となります。皆様からのご支援に厚く御礼申し上げます。

12月は例年、特別寄付金を最も多く納入いただいている月です。今年も残すところあと半月ほどとなりました。確定申告を予定されている方は12月30日（水）までに着金くださいますよう、ご送金をよろしくお願い申し上げます。

ロータリー研究会で米山奨学事業をPR！



12月1～4日、東京・台場で第44回ロータリー研究会が開催され、4人のよねやま親善大使が登壇してそれぞれの「ロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）」を発表しました。3日には、楊小平さんが「大きな家族」、スチッタ・グナセカラさんが「ロータリアンの皆さん、もっと喜んでください」と題したスピーチを、4日には、金福漢さんが「障害のある仲間とともに生きる」、于咏さんが「You Raise Me Up, Rotary!!」を発表。各人のスピーチに会場から大きな拍手と賞賛が贈られ、フィリピンのギーラー E.

タマンガンR I 理事から「ぜひ英訳原稿が欲しい」との要望をいただくほどでした。

また、3日午前の配偶者茶話会では、日本のロータリアンが推進する米山奨学事業をテーマとし、よねやま親善大使2人のスピーチのほか、第2580地区現役米山奨学生3人が日本に来て驚いたことなどのエピソードを発表、各テーブルで配偶者の方々との交流も深めました。最後に、東京芸術大学で学ぶ2人の奨学生による篠笛、竹笛、三味線を使った圧巻の演奏が披露され、大変な盛り上がりを見せました。

韓国米山学友会が総会を開催 — 学友同士の結束新たに —

2015年度韓国米山学友会総会が11月21日、ソウル市内のホテルで開催されました。韓国学友57人とその家族のほか、第3650地区ガバナーをはじめ韓国のロータリアンや、日本の関西学友会メンバーと第2660地区のロータリアンなど、多くの来賓が出席し、総勢約90人の盛会となりました。遠方から駆けつけた人や今回初めて参加したという人も多く、会場は終始、再会と新しい出会いを喜ぶ和やかな雰囲気でした。総会では、全炳台会長の再任が満場一致で承認され、当会の小沢一彦理事長からは「28年ぶりにソウルで国際大会が開かれるこの1年を、韓国学友会にとって大事な1年にしてほしい」と、エールが送られました。

全会長のリーダーシップのもと、韓国学友会では年々、若い学友たちが運営に加わり、活動を盛り上げています。ソウル国際大会はもちろんのこと、米山学友を中心とした衛星クラブ設立や世界米山学友会のネットワーク立ち上げなど、これからの韓国学友会の活躍にご期待ください！



総会で満場の拍手を受ける韓国学友会役員

中国米山学友会が総会を開催 — 上海で2年半ぶり —

2015年度の中国米山学友会総会が12月6日、上海市で開催されました。今年の総会テーマは「信念 奉獻 交流 民主」。“信念を持って人と交流をすればどんな困難も乗り越えられる”という、上海米山学友会劉京榕会長の人生観が込められたものです。今回は、2013年6月以来およそ2年半ぶりの開催とあって、中国各地から学友が約120人、そのほか家族や知人、日本からのロータリアンなど総勢140人が駆けつけ、多くの学友が再会を喜び合いました。



総会では、幹事長の陶艶さんが上海分会の年間活動を報告したほか、副会長の焦徳思さんから、1年前に急逝した柴生芳さんを記念し実施した小学校への図書寄贈プロジェクトについて報告がありました。また、当会小沢一彦理事長も、来年ソウル国際大会への参加を力強く訴えました。このほか、華北分会会長の嘉木揚凱朝さんのスピーチ、今年の世界剣道選手権大会で重傷を負いながらも中国チームをベスト8へ導いた楊敢峰さんによる太極拳の演舞、学友会活動に特に尽力した学友への表彰などがありました。劉会長は「2002年に8人からスタートした上海米山学友会が今日多くの学友を迎え、強い絆で結ばれていることを嬉しく思う。今後10年、20年、30年と、この縁が続くことを願っている」と、述べました。

税制上の優遇措置について

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は、税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月30日(水) 当会着金分までが対象です。**

米山記念奨学会事務局は、
12月26日(土)～1月5日(火)の間
休業させていただきます。
来年は1月6日(水)より通常業務
となります。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当 : 野津(のづ)・峯(みね)